

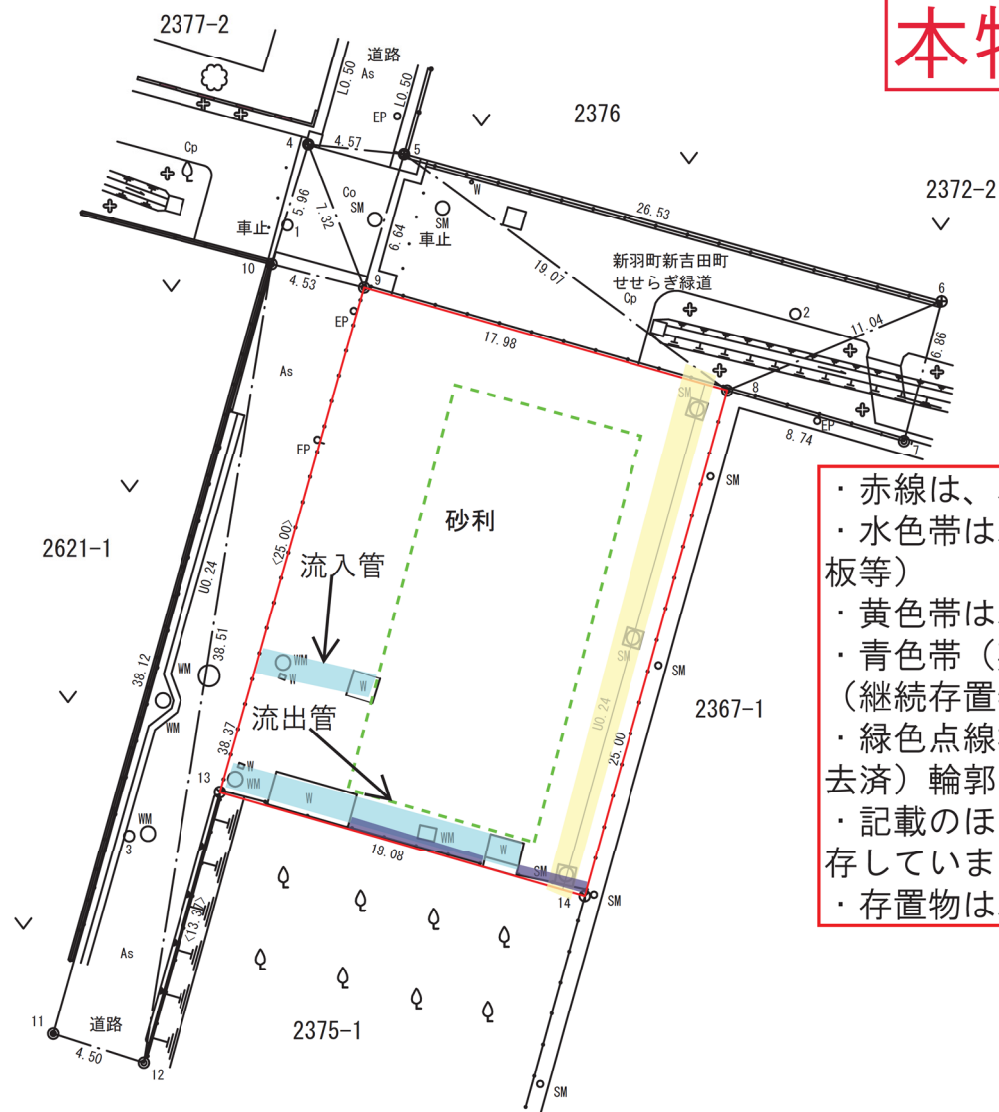
存置物図面等 目次

- P.1 本物件平面図
- P.2 要撤去存置物資料1(昭和53年度配水管新設工事しゅん工図より。流入管・流出管等図面)
- P.3 要撤去存置物資料2(昭和53年度配水管新設工事しゅん工図より。鋼矢板等図面)
- P.4 要撤去存置物資料3(昭和53年度配水管新設工事しゅん工図より。流量計室等図面)
- P.5 要撤去存置物資料4(令和元年度 試掘工事資料より(流入管・流出管の一部撤去工事前))
- P.6 要撤去存置物資料5(令和元年度 試掘工事写真(流入管付近)(流入管・流出管の一部撤去工事前))
- P.7 要撤去存置物資料6(令和元年度 試掘工事写真(流入管付近)(流入管・流出管の一部撤去工事前))
- P.8 要撤去存置物資料7(令和元年度 試掘工事写真(流出管付近)(流入管・流出管の一部撤去工事前))
- P.9 要撤去存置物資料8(令和元年度 試掘工事写真(流出管付近)(流入管・流出管の一部撤去工事前))
- P.10 要撤去存置物資料9(令和元年度 試掘工事写真(流出管付近)(流入管・流出管の一部撤去工事前))
- P.11 要撤去存置物資料10(令和2年度 流入管・流出管の一部撤去工事)
- P.12 要撤去存置物資料11(令和2年度 流入管・流出管の一部撤去工事)
- P.13 要撤去存置物資料12(令和2年度 流入管・流出管の一部撤去工事写真(流入管付近))
- P.14 要撤去存置物資料13(令和2年度 流入管・流出管の一部撤去工事写真(流出管付近))
- P.15 要撤去存置物資料14(令和2年度 流入管・流出管の一部撤去工事写真(流出管付近))
- P.16 要撤去存置物資料15(流量計室内写真 液体の滞留有)
- P.17 継続存置物資料1(地下杭等図面(設計時点)(昭和53年度ポンプ場新築工事設計図より))
- P.18 継続存置物資料2(雨水排水設備、松(横)矢板等位置図(設計時点)(昭和53年度ポンプ場新築工事設計図より))
- P.19 建物配置図(設計時点。昭和53年度ポンプ場新設工事設計図より)(ポンプ場建物は主に地上部を撤去済み)

※「存置物図面等」全ページについての留意事項……

「存置物図面」は、物件購入を検討いただくための参考資料です。現状と「存置物図面等」の掲載内容(存置物の位置、寸法、地盤状況、液体の滞留、地下水状況等の掲載内容すべて)が相違している場合は、現状が優先されます。当該相違により生じる一切の措置及び費用負担について、売主(横浜市)は対応いたしません。

本物件平面図



- ・ 赤線は、本物件境界線
- ・ 水色帯は、要撤去存置物（流入管・流出管、鋼矢板等）
- ・ 黄色帯は、雨水排水設備（継続存置物）
- ・ 青色帯（敷地南側2か所）は、松（横）矢板等（継続存置物）
- ・ 緑色点線枠は、ポンプ場建物（主に地上部分を撤去済）輪郭
- ・ 記載のほか、地下杭、フェンス等の継続存置物が存しています。
- ・ 存置物は、主に地下部分に存しています。

凡 例

境界標	
○	水道局鉄
⊙	水道局石標
⊗	道路局石標
⊕	道路局錆物杭
●	鉄鉋
⊕	その他石標

この黒細線四角枠は、ポンプ場建物（主に地上部分を解体撤去済み）の輪郭です。

要撤去存置物資料 2

(昭和53年度配水管新設工事しゅん工図より。
鋼矢板等図面)

・ しゅん工図内に明示されていないため、あくまでも推測となりますが、P. 2図面の内容から、図中の○部分には、弁、弁室等、◎部分には、流量計、弁、流量計室等が存するものと考えられます。

前面道路

流入管等

流出管等

ポンプ場

ポンプ場建物

(主に地上部分を解体
撤去済み)

鋼矢板
H=6m l=2.5m

3/19

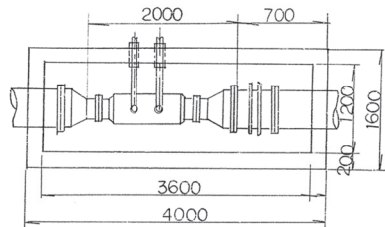
工事名 新羽町500糎配水管新設工事

昭和53年度 決第65号 新羽町500 MM 配水管新設工事しゅん工図

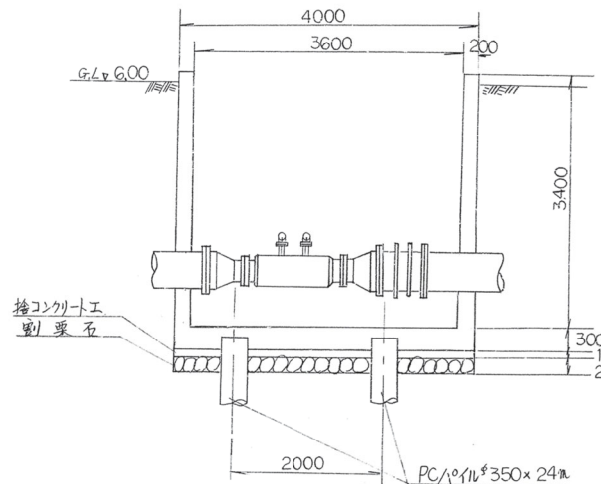
物件番号2871

流量計室図

平面図



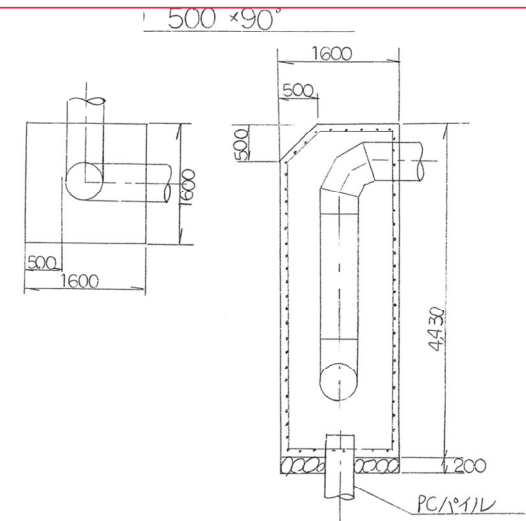
側面図



要撤去存置物資料 3

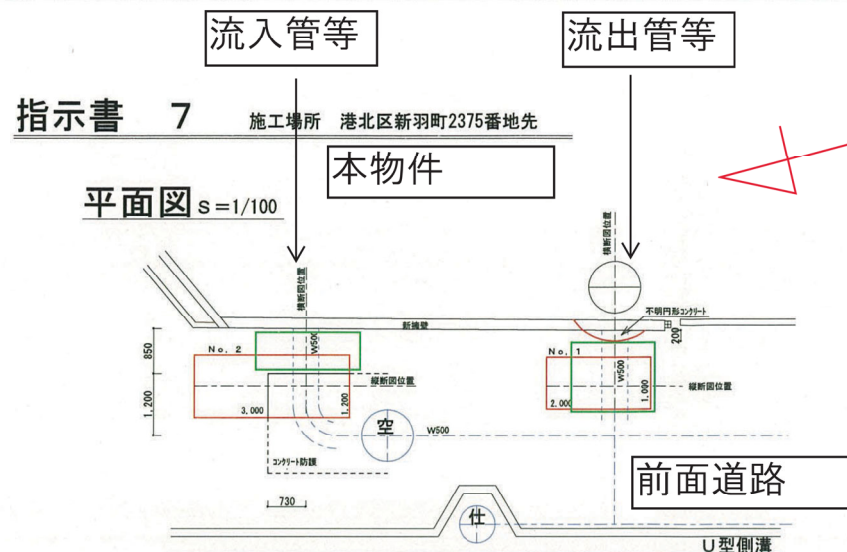
(昭和53年度配水管新設工事しゅん工図より。流量計室等図面)

⑨ 図中の基礎（捨コンクリート工、割栗石）、PCパイプは、継続存置物であり、撤去は必須ではありません。



上記図面は、形状から、P. 3左下の、管が直角に曲がっている部分に相当するもの（平面図及び側面図）と推測されます。
しゅん工図に明示がないため、あくまでも推測であることをご承知おきください。

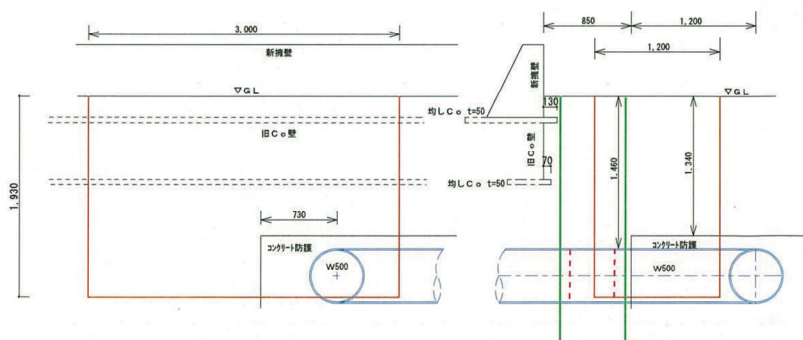
工事名 新羽町500MM配水管新設工事



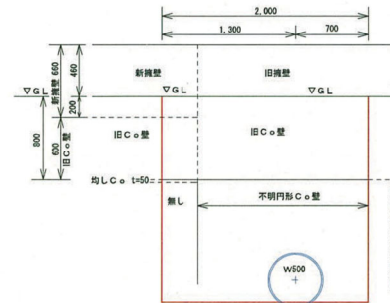
要撤去存置物資料 4
(令和元年度試掘工事資料より(流入管・流出管の一部撤去工事前))

・ 流出管、弁室等は、前面道路に越境しており、また、南側隣接地に越境している可能性があります。越境部分についても、引渡し及び撤去の対象となります。

NO. 2縦断面図 S=1/50

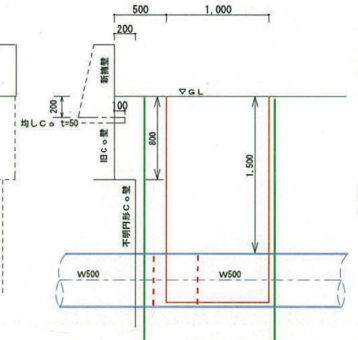


NO. 2横断面図 S=1/50



NO. 1縦断面図 S=1/50

NO. 1横断面図 S=1/50



図名	試掘箇所(平面図・断面図)
年度	令和元年度
決	

要撤去存置物資料5
(令和元年度試掘工事写真(流入管付近)(流入管・流出管の一部撤去工事前))

物件番号2871

(北側から撮影)



工事現場中心50m以下掘削及び掘削工事(205)
位置 決着 0
工事名 北高防衛工事現場中心50m以下掘削及び掘削工事(205)
工種 試掘工事 位置 4 No. 2
収容 決着 0019
作成

2020/10/13

物件番号2871

要撤去存置物資料6
令和元年度試掘工事写真(流入管付近)
(流入管・流出管の一部撤去工事前))

(北側から撮影)

2020/10/13

7/19

要撤去存置物資料7(令和元
年度試掘工事写真(流出管付
近)(流入管・流出管の一部
撤去工事前))

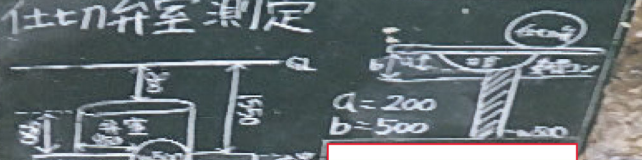
(北西側から撮影)

8/19



要撤去存置物資料8(令和元
年度試掘工事写真(流出管付
近)(流入管・流出管の一部撤
去工事前))

(北側から撮影)

工事名	北部方面工事管径50mm以下新設及び布設工事(205)		
工種	試験調査工	位置	4-No23
		決番	001号
仕切弁室測定			
			

要撤去存置物資料9(令和元
年度試掘工事写真(流出管付
近)(流入管・流出管の一部撤
去工事前))

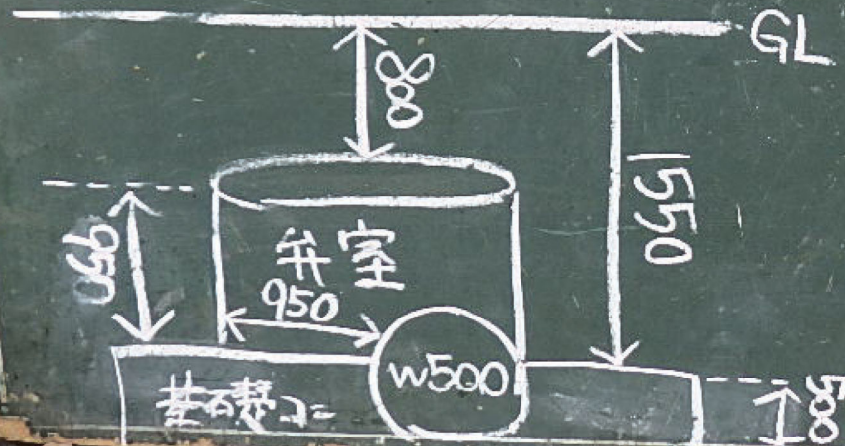
物件番号2871

工事名 北部方面工事課管内口径50mm以下新設及び改管工事

工種 試掘調査工 位置 4-No23

10/13 決番 001号

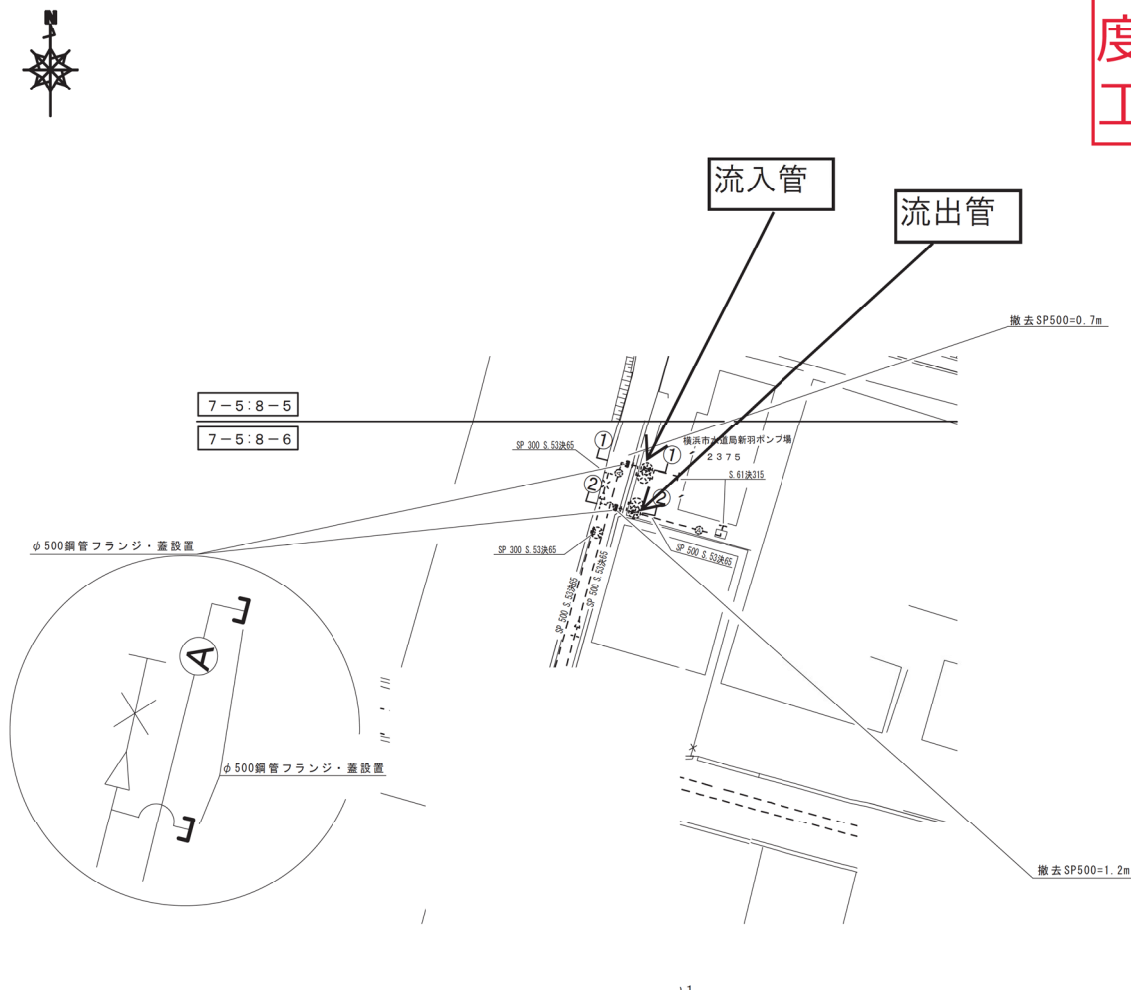
仕切弁室測定



平面図（工事場所 4） S=1/500

7-5:8-6

要撤去存置物資料10(令和2年度 流入管・流出管の一部撤去工事)

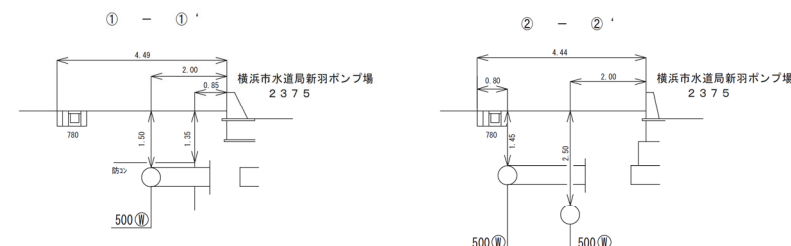


既設撤去管及び使用廃止管 工事場所（4）

品名	形状寸法	数量	単位	単長	延長	摘要
SP	φ500		m		1,900	決65号

布設位置断面図（工事場所 4） S=1/100

7-5:8-6

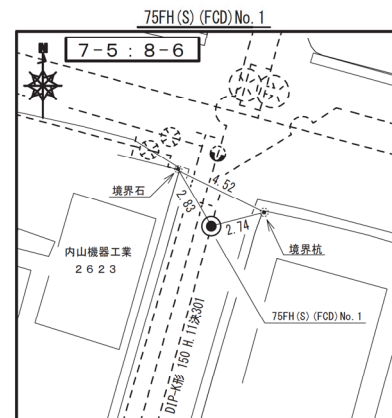
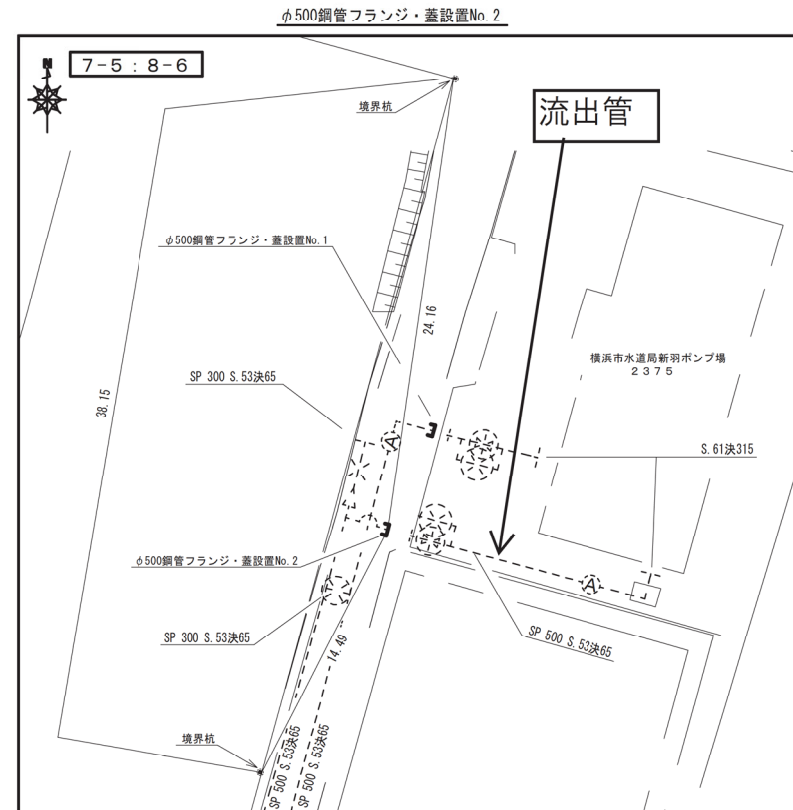
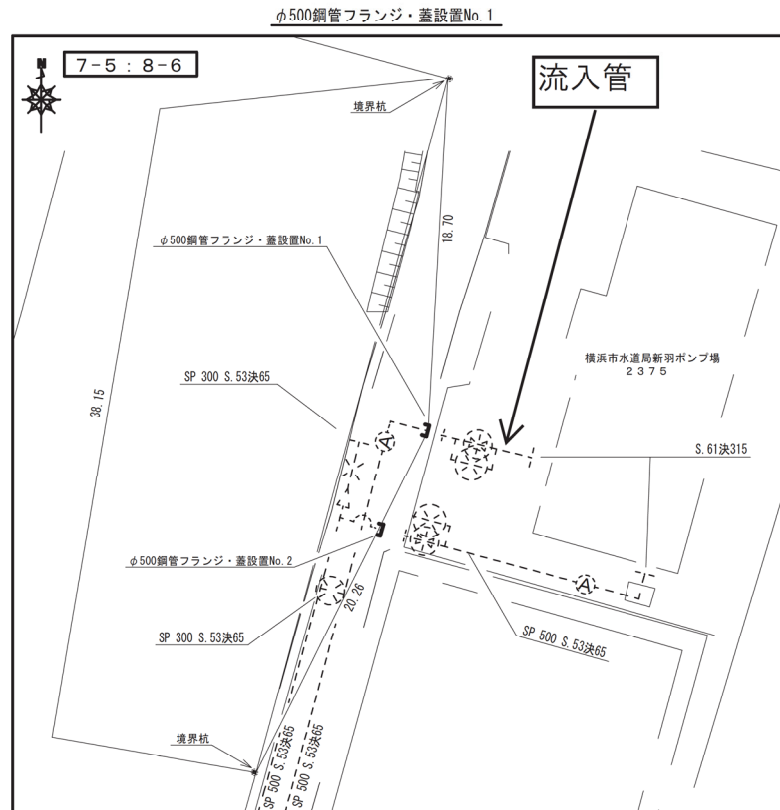


11/19

摘要 弁室等の構造図は横浜水道局設計標準図による。	工期 令和 2年6月8日 ~ 令和 3年3月31日	年度 2	メッシュ番号 7-5:8-6	図名 平面図（工事場所 4） S=1/500 布設位置断面図（工事場所 4） S=1/100 内訳表（工事場所 4） 新設管等材料表（工事場所 4）
	請負人	起工番号 決 001	工事場所 (工事場所 4) 港北区新羽町 2375 番地 4 号先から 2342 番地先まで	図番 17/23

各種オフセット図（工事場所 4）S=1/200

物件番号2871



要撤去存置物資料11(令和2年度 流入管・流出管の一部撤去工事)

12/19

摘 要		工 期	年 度	メッシュ番号	図 名	各種オフセット図(工事場所 4)
弁室等の構造図は横浜市水道局設計標準図による。 老朽管改良		令和 2年6月8日 ~ 令和 3年3月31日	2	7-5:5-2,5-3	縮 尺	S=1/200
				工 事 名	北部方面工事課管内 口径50mm以下新設及び布設替工事(その5)	
			起工 番号	決 001	工事場所	(工事場所 4)港北区新羽町2375番地4号先から2342番地先まで
		請 負			図 番	18/23

要撤去存置物資12(令和2年度流入
管・流出管の一部撤去工事写真(流入
管付近))

(北側から撮影)

物件番号2871

要撤去存置物資料13
(令和2年度流入管・
流出管の一部撤去工
事写真(流出管付近))

(北西側から撮影)

要撤去存置物資料14
(令和2年度流入管・流出
管の一部撤去工事写真
(流出管付近))

(北西側から撮影)

物件番号2871

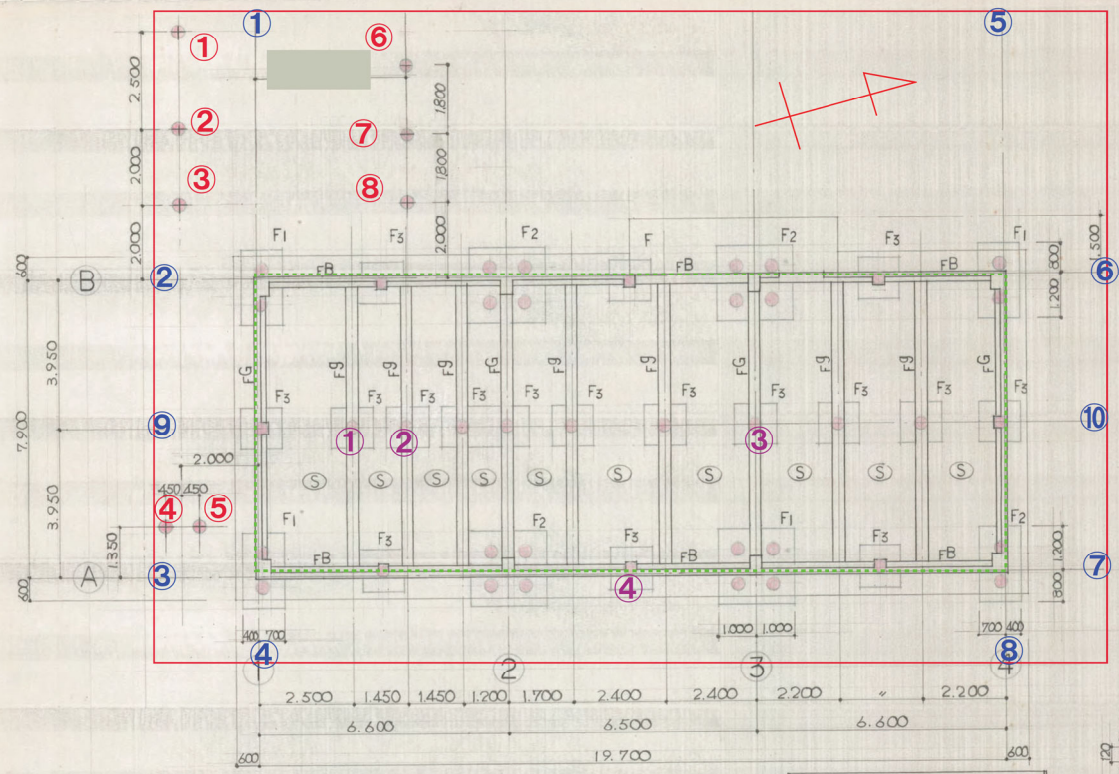


要撤去存置物資料15
流量計室内写真（液体の滞
留有）

16/19

2021/02/03





継続存置物資料 1
地下杭等図面(設計時点)
昭和53年ポンプ場新築工事
設計図より

一般共通事項

1. 杭 PCパイプ(A種) 350φ 鋼管
L=24,000(12m×12m) 埋込杭
(上記事項は現場の状況に応じて変更された可能性があります)

・左記図面の赤丸は、設計時点での杭打設予定箇所と推測されます。赤字の①～⑧は流量計室等を支える地下杭、その他の41本は建物の地下杭と推測されます。

また、旧ポンプ場建物の輪郭は緑点線と推測されます。(旧ポンプ場建物の配置図はP.19で御確認ください。)

また、左記図面の赤線は、おおよその本物件境界線を表しています。

設計図に明示がないため、いずれも推測であることをご承知おください。

・左記図面の青字の①～⑩は本物件に打設されている単管パイプです。青字①～⑧は、建物の外形のおおよその位置の目印として打設しています。また、青字⑨⑩は、左記図面F3付近の建物地下杭のおおよその位置の目印として打設しています。

・建物地下杭は概ねGL-30cmまで撤去しています。ただし、紫色①が付された杭は概ねGL-3.5m付近まで、紫色②及び③が付された杭は概ねGL-3mまで、紫色④が付された杭は概ねGL-2mまで撤去しています。

・左記図面は、設計図作成時点の情報であるため、現状と異なる場合があります。

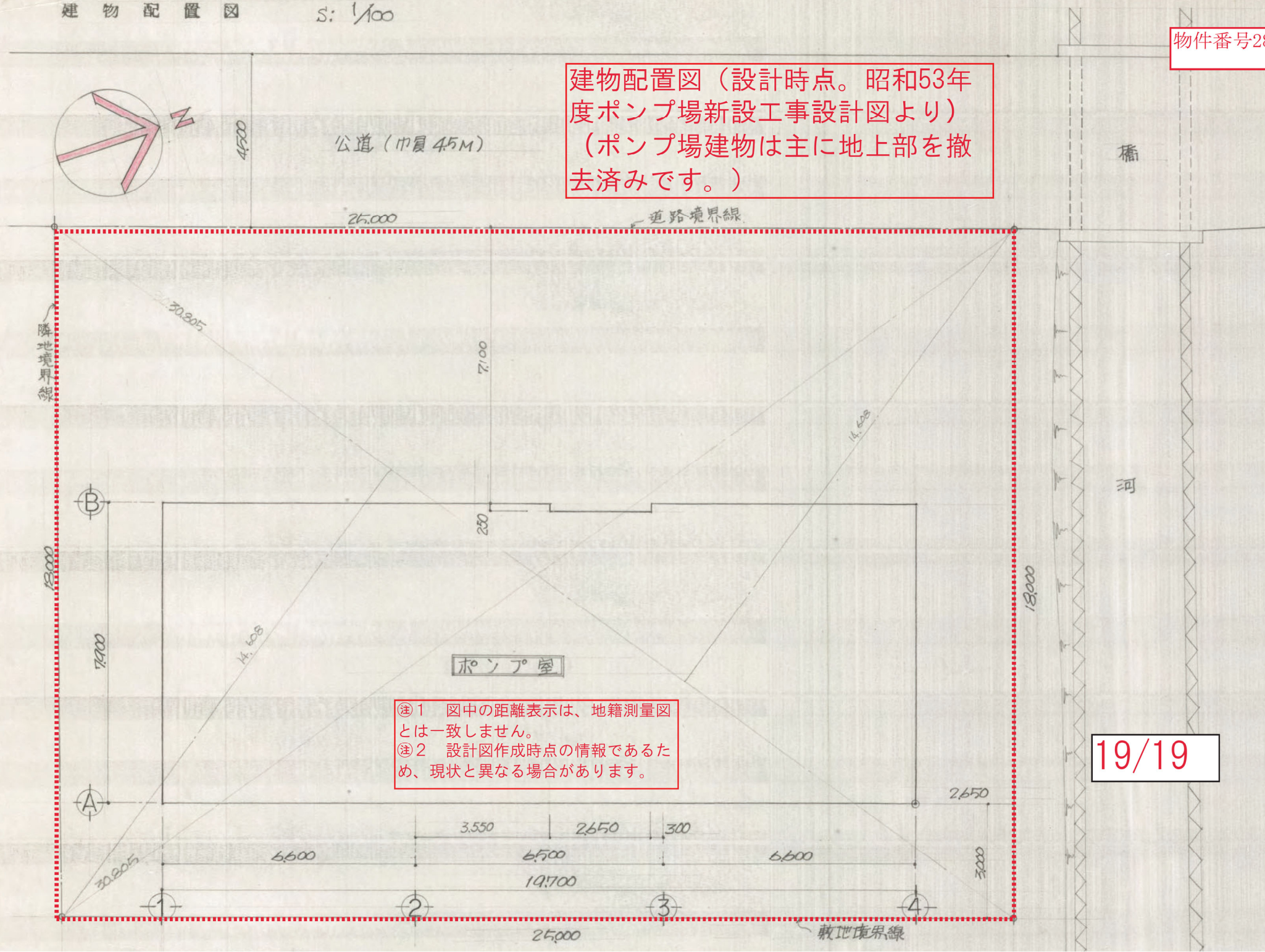
・右上の記載は、設計図時点での杭の仕様です。現場の状況によって変更となった可能性があります。

物件番号2871

-
- Architectural plan of a drainage system. The plan shows a rectangular area with various drainage components labeled NO1 through NO17. Red boxes and arrows highlight specific areas and components. A table at the bottom lists dimensions for various components.
- Callouts and Annotations:**
- 排水桝NO15 既存のまま
 - 排水桝NO16 既存のまま
撤去管 (N08-N016間) との接続部にモルタル詰め
 - HP管 $\phi 150$ 既存のまま
 - モルタル詰め
 - 排水桝NO17 既存のまま
撤去管 (N014-N017間) との接続部にモルタル詰め
 - モルタル詰め
 - 北側で「せせらぎ緑道」の暗渠と雨水排水設備が接続しています
 - 南側隣接地と雨水排水設備が接続しています
- Table: 外構図 $S=1/100$**
- | NO | 内法寸法・深さ・フタ | NO | 内法寸法・深さ・フタ | NO | 内法寸法・深さ・フタ | NO | 内法寸法・深さ・フタ |
|----|------------|----|------------|----|------------|----|---------------|
| 1 | 撤去済み | 5 | 撤去済み | 9 | 撤去済み | 13 | 撤去済み |
| 2 | | 6 | | 10 | | 14 | |
| 3 | | 7 | | 11 | | 15 | 450 × 450 角蓋付 |
| 4 | | 8 | | 12 | | 16 | 560 中雨型 |
| | | | | | | 17 | 700 有 |
- Table: 土留断面図 $S=1/50$**
- | 寸法 | 材料・仕様 |
|---------------------|--------|
| 90 × 90 | スチール |
| 150 × 30 × 200 | コンクリート |
| 4,000 × 150 @ 1,000 | コンクリート |
- Table: アスファルトコンクリート表層**
- | 寸法 | 材料・仕様 |
|-----|----------------|
| 330 | アスファルトコンクリート表層 |
| 45 | 砕石路盤 C-40 |
- Table: 18/19**
- | 寸法 | 材料・仕様 |
|-----|----------------|
| 330 | アスファルトコンクリート表層 |
| 45 | 砕石路盤 C-40 |

外構図 8-Y100		外構図 8-Y100		外構図 8-Y100		外構図 8-Y100	
NO	内法寸法・深さ・79	NO	内法寸法・深さ・79	NO	内法寸法・深さ・79	NO	内法寸法・深さ・79
1	撤去済み	5	撤去済み	9	撤去済み	13	撤去済み
2		6		10		14	
3		7		11		15	450 × 450 角棒(付)
4		8		12		16	〃 × 560 中桁重型
	アスファルトコンクリート表層				330	17	〃 × 700

建物配置図（設計時点。昭和53年度ポンプ場新設工事設計図より）
（ポンプ場建物は主に地上部を撤去済みです。）



- ① 図中の距離表示は、地籍測量図とは一致しません。
② 設計図作成時点の情報であるため、現状と異なる場合があります。